

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。	
共通教養教育科目	リテラシー科目	英語コミュニケーションIA					○	
		英語コミュニケーションIB					○	
		英語コミュニケーションIC					○	
		英語コミュニケーションID					○	
		英語コミュニケーションII 基礎プレゼンテーション					○	
		英語コミュニケーションII 応用プレゼンテーション					○	
		英語コミュニケーションII 基礎エッセーライティング					○	
		英語コミュニケーションII 応用エッセーライティング					○	
	情報処理概論					○		
	情報リテラシー							
	コンピュータリテラシー					○		
	ビジネスリテラシー							
	日本語表現法							
	教養基礎科目	科学と人間					○	
		基礎化学						
		基礎生物学	○					
		物理と自然法則						
		地球の科学						
		数学入門						
		基礎統計学					○	
		社会調査基礎論					○	
		日本国憲法				○		
		法学						
		政治学						
		経済学						
倫理学					○			
哲学						○		
文学								
基礎ジェンダー学		○						
心理学		○						

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。	
共通教養教育科目	課題別教養科目	生活と社会福祉					○	
		現代生活論					○	
		環境と健康と安全					○	
		自然災害と防災の科学					○	
		平和論					○	
		現代人権論				○		
		ジェンダーとキャリア					○	
		労働と人権						
		地域とグローバリゼーション					○	
		家族関係論						
		地域メディア論					○	
		異文化理解海外フィールドワーク					○	
	人権教育論				○			
	健康・スポーツ科	健康スポーツ科学Ⅰ						
		健康スポーツ科学Ⅱ						
		対人関係とメンタルヘルス						
		健康とヘルスプロモーション						
		栄養と健康						
	域学共生科目	地域学概論						○
		土佐の歴史と文化						○
		土佐の経済とまちづくり						
		土佐の自然と暮らし						
		土佐の食と健康						○
		専門職連携論			○			
		チーム形成論			○			
		地域学実習Ⅰ	○					
		地域学実習Ⅱ	○					
域学共生実習	○		○					

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。
専門基礎科目	医学の世界						◎
	人体の構造 I	○					
	人体の構造 II	○					
	人体の機能 I	○					
	人体の機能 II	○					
	人体のしくみの乱れ I	○					
	人体のしくみの乱れ II	○					
	心のしくみ	○					
	病態と治療 I	○					
	病態と治療 II	○					
	診断学	○					
	微生物学	○					
	栄養学	○					
	生化学	○					
	薬理学	○					
	治療学総論	○					
	小児と疾患	○					
	母性学	○					
	保健統計学						○
	疫学	○					○
	健康管理論		○				
	地域保健政策						◎
	生命の科学と倫理					◎	
	医療史						○
	社会保障と看護						○
	心理学理論と心理的支援					○	
	行動科学	○					
	保健行動論		○				
人間工学	○						
公衆衛生学	◎						
在宅医療			○				
医療と経営						○	
助産学	◎						
助産診断論	◎						

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。	
看護基礎科目	基礎看護学	看護学総論	◎			◎	◎	
		健康と看護	◎					
		環境と看護	◎					
		人間と看護	◎					
		看護研究方法論					◎	
		看護哲学と倫理				◎	○	○
	看護援助学	生活と看護	◎					
		生活援助論Ⅰ	◎	◎				
		生活援助論Ⅱ	◎	◎				
		生活援助論Ⅲ	◎	◎				
		看護過程論		◎				
		援助関係論	◎			◎		
		フィジカルアセスメントⅠ	◎					
		フィジカルアセスメントⅡ	◎					
		治療援助論Ⅰ		◎				
		治療援助論Ⅱ		◎				
		症状と看護		◎				
		看護援助の動向と課題						○
		ふれあい看護実習	◎					
		看護基盤実習		◎				
	看護管理学	看護システム論					◎	◎
		看護サービス論					◎	◎
		看護教育論					○	
		看護管理の動向と課題					○	
		チーム医療実習			◎			
		看護管理実習			◎		◎	

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。	
看護学部 専門教育科目	急性期看護学	急性期看護論	◎			○	○	
		急性期看護援助論		◎				
		回復期看護援助論	◎	○	○			
		急性期看護の動向と課題					○	
		急性期看護実習		◎		○		
	慢性期看護学	慢性期看護論	◎			○		○
		慢性期看護援助論		◎				
		終末期看護援助論	◎	○		◎		
		慢性期看護の動向と課題					○	
		慢性期看護実習		◎		○		
	老人看護学	老人看護学総論	◎			○		○
		老人の健康と看護	◎				○	
		老人看護援助論		◎				
		老人看護の動向と課題					○	
	精神看護学	精神看護学総論	◎			○		○
		精神の健康と看護	◎				○	
		精神看護援助論		◎				
		精神看護の動向と課題					○	
		精神看護実習		◎		○		
	小児看護学	小児看護学総論	◎			○		○
小児の健康と看護		◎				○		
小児看護援助論			◎					
小児看護の動向と課題						○		
小児看護実習			◎		○			
母性看護学	母性看護学総論	◎			○		○	
	母性看護対象論	◎				○		
	母性看護援助論		◎					
	母性看護の動向と課題					○		
	母性看護実習		◎		○			

看護臨床科目

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。
助産看護学	助産看護学総論	◎					
	助産看護診断論	◎					
	助産技術論Ⅰ		◎				
	助産技術論Ⅱ		◎				
	助産看護援助論		◎				
	助産看護管理論					◎	
	助産看護の動向と課題					◎	
	助産看護実習Ⅰ		◎				
	助産看護実習Ⅱ			◎			
在宅看護学	在宅看護学総論	◎		◎	○		
	在宅看護対象論	◎		○		○	
	在宅看護援助論		◎	○			○
	在宅看護リエゾン論			○			
	在宅看護の動向と課題					○	
	在宅看護実習		○	◎	○		
地域看護学	地域看護学総論	◎		◎	○		
	地域の健康と看護	◎				○	○
	地域看護援助論		◎				
	地域看護の動向と課題					○	
	地域看護実習		◎		○		
学校保健	学校保健	◎					
	養護概説		◎				
学	看護研究					◎	
	看護と政策						◎
	がん看護論		◎				
	総合看護実習		○	◎	◎		
	看護実践能力開発実習		○		◎		◎
	バイオロジカルナーシング	○					
	治療と看護	○					
	災害と看護						○
	災害看護実践論			○			○
	グローバル社会と看護Ⅰ						○
	グローバル社会と看護Ⅱ						○
	グローバルヘルス						○

ディプロマ・ポリシー&学修成果指標 ◎=学修成果の修得ために特に重要な科目 ○=学修成果の修得ために重要な科目		1 専門的知識に基づいて、看護の対象を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解することができる能力を有している。	2 個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで、健康課題の解決に向けて看護を実践することができる能力を有している。	3 保健・医療・福祉などのあらゆる場で、リーダーシップを発揮して多職種と協働することができる基礎的能力を有している。	4 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を擁護して看護の対象となる人々と関係性を築くことができる能力を有している。	5 看護専門職者として生涯にわたって研究的視点をもって看護の本質を探究し、専門性を高めることができる基礎的能力を有している。	6 国際的・学際的見地に立って人々の健康と安全・安心な暮らしを支える看護を創造することができる基礎的能力を有している。	
総合科目	異文化理解看護フィールドワーク						○	
	看護地域フィールドワーク			○				
	看護学の動向と課題					○	○	
	看護セミナーⅠ					○		
	看護セミナーⅡ					○	○	
	看護セミナーⅢ		○			○		
	看護セミナーⅣ					○		
	看護セミナーⅤ					○		
	看護セミナーⅥ					○		
	臨床看護論Ⅰ(人間の自立とQOL)	○						
	臨床看護論Ⅱ(家族と健康)	○						
	臨床看護論Ⅲ(子どもの発達と健康)	○						
	臨床看護論Ⅳ(慢性の病と生活)	○						
	臨床看護論Ⅴ(健康と病気の探究)	○						
	臨床看護論Ⅵ(看護と倫理的課題)					○		
	母性・助産看護実践論		○					
	精神看護実践論		○					
	急性期看護実践論		○					
	慢性期看護実践論		○					
	小児看護実践論		○					
	地域看護実践論		○					
	老人看護実践論		○					
	臨床看護実践論		○					
医学と看護の統合							○	
最新実践看護講座Ⅰ							○	
最新実践看護講座Ⅱ							○	

全員 必修科目

保健師のみ 必修科目

助産師のみ 必修科目

養護教諭のみ 必修科目